



疾病の成り立ちと回復の促進②

臨床薬理学

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
ナトリウムポンプ (1分22秒)		ナトリウムポンプでは、ATPを消費し、細胞内外の濃度勾配に逆らってナトリウムの吸収とカリウムの排泄を行う「能動輸送」を行っている。	1章 医薬品総論 ■ 2 医薬品の作用原理とその影響 1 薬力学
経口与薬 (4分44秒)		経口与薬を実施する際の注意点とその方法について解説する。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 1 薬物の投与経路
静脈内注射 (3分57秒)		静脈内注射を実施する際の注意点と手順・方法について解説する。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 1 薬物の投与経路
薬物動態—吸収— (4分30秒)		薬物動態の4過程の一つ、「吸収」について解説するとともに、投与経路ごとの吸収過程の違いについてみていく。吸収過程の多い経口投与については、影響を与える要素も押さえながら解説する。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 2 薬物の体内動態
薬物動態—分布— (2分47秒)		薬物動態の4過程の一つ、「分布」について解説する。人体の特性と薬物の特性により生じる分布の違いや、分布の過程で起こる薬物相互作用、血液脳関門についてもあわせて紹介する。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 2 薬物の体内動態
薬物動態—代謝— (3分40秒)		薬物動態の4過程の一つ、「代謝」について解説する。代謝の過程（第Ⅰ相反応・第Ⅱ相反応）と、それにかかわるCYPの特徴などを中心に示し、代謝の過程で起こりやすい相互作用の理解を助ける。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 2 薬物の体内動態
薬物動態—排泄— (2分56秒)		薬物動態の4過程の一つ、「排泄」について解説する。腎排泄と胆汁排泄の二つのパターンについて解説する。腎排泄では尿中に排泄されるまでの三過程について示し、胆汁排泄では腸肝循環も含めて紹介する。	1章 医薬品総論 ■ 3 薬物動態学 2 薬物の体内動態

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>薬が処方されてから患者に投与されるまで (9分21秒)</p> <p>🔊</p>		<p>大学病院の薬剤部を例に、薬が処方されてから患者に投与されるまでの流れを説明する。</p>	<p>1章 医薬品総論 ■ 4 医薬品の適切な使用に向けて 3 処方から投与まで</p>
<p>調剤薬局のしくみ (3分3秒)</p> <p>🔊</p>		<p>保険薬局における調剤の流れを紹介する。</p>	<p>1章 医薬品総論 ■ 4 医薬品の適切な使用に向けて 3 処方から投与まで</p>
<p>医療過誤の事例と法的責任 (7分41秒)</p> <p>🔊</p>		<p>1999(平成11)年に起こった都立広尾病院事件(抗凝固薬と消毒薬の取り違えによる患者の死亡事件)を紹介し、看護師の取りうる法的責任(刑事責任、民事責任、行政上の責任)について解説する。</p>	<p>1章 医薬品総論 ■ 4 医薬品の適切な使用に向けて 3 処方から投与まで</p>
<p>尿検査の実際 (3分25秒)</p> <p>🔊</p>		<p>5段階の血尿スケールの評価や尿沈渣検査の方法を紹介。さらに細胞診の判定基準なども解説する。</p>	<p>2章 感染症に使用する薬 ■ 2 抗微生物薬(抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬) 2 抗微生物薬とは</p>
<p>消毒薬とその使用法 (3分55秒)</p> <p>🔊</p>		<p>さまざまな消毒薬とその使用方法について、使用対象別に紹介する。</p>	<p>2章 感染症に使用する薬 ■ 2 抗微生物薬(抗菌薬・抗ウイルス薬・抗真菌薬) 7 消毒薬</p>
<p>免疫のしくみ (4分25秒)</p> <p>🔊</p>		<p>自然免疫と獲得免疫の違いや、獲得免疫の分類(液性免疫と細胞性免疫)などを、免疫細胞(顆粒球やマクロファージ、T細胞、B細胞など)の紹介と併せて説明する。</p>	<p>3章 免疫疾患・アレルギー・炎症に使用する薬 ■ 1 免疫のしくみ</p>
<p>薬物の作用機序の基本 (神経伝達物質) (1分13秒)</p> <p>🔊</p>		<p>シナプス間隙における情報伝達の様子を、神経伝達物質の動きを追って説明する。</p>	<p>5章 末梢神経に作用する薬 ■ 1 神経系概論 2 神経細胞(ニューロン)と神経伝達物質</p>

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>アルツハイマー型認知症治療薬の作用機序 (2分32秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>正常・アルツハイマー型認知症におけるアセチルコリン、グルコースの動きを示した上で、2種類の治療薬ドネペジルとメマンチンそれぞれの作用について説明する。</p>	<p>6章 脳・中枢神経系疾患で使用する薬 ■ 4 認知症（アルツハイマー型認知症）の治療薬</p>
<p>血液の組成と機能 (5分38秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>血液、特に血球の組成（赤血球、白血球、血小板）とそれぞれの血球の役割について、重要な点に絞って解説している。</p>	<p>8章 血液・造血管疾患に使用する薬 ■ 1 血液のしくみ</p>
<p>凝固・線溶のしくみ (5分23秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>凝固・線溶のしくみは、なかなかイメージしにくい。本アニメーションでは、凝固における血小板やフィブリンの働き、線溶におけるプラスミンの働き、その他、凝固異常などを、感覚的に理解しやすいようになっている。</p>	<p>8章 血液・造血管疾患に使用する薬 ■ 4 血友病治療薬</p>
<p>インスリンの自己注射 (3分51秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>1型糖尿病、2型糖尿病に広く使われる、インスリンの自己注射とその手順について紹介する。</p>	<p>9章 代謝／内分泌疾患に使用する薬 ■ 1 代謝／内分泌疾患 3 糖尿病治療薬</p>
<p>褥瘡処置の手順 (2分27秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>在宅療養の場面において、褥瘡処置の手順を紹介する。</p>	<p>13章 感覚器疾患に使用する薬 ■ 1 皮膚疾患の治療薬 3 褥瘡治療薬</p>
<p>平衡覚伝導路のしくみ (1分21秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>平衡覚は内耳で認識される。内耳の平衡斑にある平衡砂・平衡膜・平衡毛の動きにより、刺激が神経に伝えられ平衡覚として認識される。</p>	<p>13章 感覚器疾患に使用する薬 ■ 3 平衡感覚障害の治療薬 1 めまい治療薬</p>